

昭和17年3月日本軍の南海支隊及び海軍陸戦隊はニューギニア進攻の拠点構築のためラエとサラモアに無血上陸を果たした。

サラモアの海岸と集落



椰子の樹
 長野県ニューギニア会報

第36号

令和7年1月1日発行
 長野県諏訪郡富士見町落合
 発行人 小池博之
 印刷 杏花印刷

美しいサラモアの海岸

サラモアはダンピール海峡をはさんでラバウルからの重要補給基地であった。爆撃で多くの艦船や輸送船が沈む海でもある。

それからは前線の要衝として米豪連合軍の侵攻を阻止すべく激戦が繰り返された。しかし猛烈な砲爆撃により輸送船による補給も断たれ、海陸からの挟撃により18年9月死守していた五十一師団に撤退命令が下る。

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては恙無く新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本来ならば小池博之会長が年頭のご挨拶を申し上げるところですが、昨年夏以来体調を崩し療養中ですので、替わって筆頭副会長の成沢が新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍を経て、ようやく今までの日常が戻りつつあるとはいえ、コロナが課した試練は大きなもので、当会にとっても会員の減少などにその影が表れています。

謹賀新年

新年のごあいさつ

長野県ニューギニア会 副会長 成沢勝人

そんな中昨年度は、7月28日に第56回「ニューギニア方面戦没者慰霊大祭」と第56回「通常総会」を開催。(委細4面)また、本田顧問による「慰霊友好親善事業」への参加、東信地区代表幹事の滝沢さんによる「日本戦没者遺骨収集推進協議会」派遣者として、マダン州ゴリゴ、ボダ方面に11月2日より2週間にわたって参加され、成果を挙げて帰国しました。(委細3面)今年度は7月27日の日曜日に、第57回となる「慰霊大祭」と「通常総会」を予定し、慰霊巡拝の当会独自の催行は難しく、2月に予定されていた「慰霊友好親善事業」が、希望者が満たず中止となりました。慰霊の志を同じくす

る者がいる限り、たとえ人数が少なくなろうとも、慰霊祭など執り行いたいと思っておりますので、英霊の御霊を鎮めるお祭りには大勢の皆さまのご参加をお願い申し上げます。まだ未決の諸問題も多々ありますが、先ずは異郷の地で土と化した英霊を悼む心を大切に持ち続け、皆様のご理解とご協力をいただきながら会の運営を進めてまいりたいと思っております。また、昨年度当会からの寄付の呼び掛けに賛同いただき、多大な御芳志を頂戴いたしましたこと、ここにあらためて御礼申し上げます。最後に、会員の皆様におかれましては、お体に十二分にご留意されお過ごしください、7月の慰霊祭には元気なお姿で、お会いできることを、新年に当たり心よりお祈り申し上げます。

最後の現地慰霊巡拝に参加

東部ニューギニア ウエワク・ラエ方面戦没者慰霊

日本遺族会の企画する本年度の現地慰霊巡拝は、令和6年10月18日から10月25日に実施されました。國政隆昭総括団長とする総勢15名が激戦地の跡をたどり、父の眠る地で慰霊祭を行いました。

本会からは本田昌彦前会長が参加され、父故本田昌平氏が戦死されたウエワクの地で慰霊祭を行い御霊の冥福を祈られました。

今回の慰霊巡拝は空路フイリツピン・マニラ経由で、ニューギニアの首都ポートモレスビーに20日の朝到着。国内線空路でラエ郊外のナザブ・トモダチ国際空港に着陸し、ラエでの慰霊祭を行いました。

翌日の巡拝地サラモアへは、陸路の移動が困難のため、海路小型ボートによる往復3時間の船旅がきつかったようです。同日午後ラエ郊外のムナム小学校へ学校訪問し、サッカーボール・文具・衣類等をプレゼントし生徒たちは大喜びで歓迎してくれました。

ウエワクではバラム・ボイキン・洋展台の各所で慰霊祭を行い、23日には慰霊公園に於いて全戦没者

追悼式が行われ、慰霊祭を全て終了しました。

24日朝ウエワク発の予定でしたが航空機の遅れで午後便となり、市内視察は無しに。午後在パプアニューギニア日本国大使館との懇談会を行い、翌25日帰国の途に就きました。

令和7年は戦後80年、本事業も35周年を迎えますが、今回が最後の巡拝になるようです。

慰霊と友好親善の灯が永遠に続くことを祈るばかりです。



ムナム小中学校で生徒の皆さんと共に

ウエワク平和慰霊公園で全戦没者慰霊祭



ラエからサラモアへ小型ボートでの移動



PNG・日本大使館員との懇談会



慰霊・平和・友好の灯を未来につなぐ
東部ニューギニア方面 慰霊巡拝団
ラエ近郊 ムナム・プライマリースクール学校訪問



故本田昌平氏の慰霊洋展台にて



ムナム学校訪問での歓迎の民族踊りシンシン



川畑さんの奥様と娘さんにお会いする

東部ニューギニア 第三次遺骨収集に派遣



ポギアに向かう途中の市場で休憩
(左から三人目が滝沢さん)



椰子の美で一息

東御市本海野在住の滝沢祐一さん（東信地区代表幹事）が令和6年度東部ニューギニア現地調査・遺骨収集派遣団に参加されました。派遣場所は、マダソン州ポギア地区ゴリンゴル・ボダ・アワー



ゴリンゴルでの作業者の集合写真と発掘作業



ルです。派遣期間は令和6年11月9日～22日の14日間行われ、現地住民の協力を得て遺骨の発掘・収容・洗浄・鑑定を行いました。今回は21柱の遺骨を収容し、前回（2次）の30柱と合

わせ計51柱の検体を持ち帰り、成田空港で出迎えた厚生労働省職員に引き渡しました。



遺骨収容作業による7柱のご遺骨



遺骨鑑定作業と洗骨前のご遺骨

東部ニューギニア現地調査・遺骨収集派遣（第3次）に初めて参加をさせて頂きました。現地の景色を眺めていると、「伯父もこの景色を観ていたのか」との思いに、なぜか伯父との距離が一気に縮まり、不思議な感情が湧いてきました。

私と、東部ニューギニアの関わりは、松本市の護國神社境内に「嗚呼戦友の碑」が建立された昭和49年の

滝沢さんの所感

夏が最初で、それ以来毎年、慰霊祭に参加の親父の送迎がきっかけとなり、以降毎年の行事となっておりま

又、この事業の維持・継続には、PNG現地の方々の協力が不可欠であり、今後についても良い関係を築いていく必要があると感じております。

令和6年度ニューギニア方面 戦没者慰霊大祭報告

今年も、灼熱の南国ニューギニア島およびその周辺海域において、祖国の安寧に想いを馳せつつ戦場に散った英霊を慰霊するため、第56回ニューギニア方面戦没者慰霊大祭は、盛夏の令和6年7月28日午後1時、長野県護国神社（松本市）において厳粛に斎行された。

昨年7月30日、慰霊大祭後の臨時総会で議決された活動費節減策に則り、慰霊大祭と総会を同じ日と会場にお

いて開催するもので、神社本殿での慰霊大祭には来賓と会員など約50名の関係者が参列して例年に倣って執り行われた。

大太鼓の合図で始まった祭典は、奥谷宮司による祝詞奏上、当会小池会長の祭文奏上（体調不良の会長に代わって安川副会長代読）、来賓（池内長野県遺族会長ほか）による慰霊のことは、玉串奉奠などがあり約一時間にわたる慰霊式典が閉幕となった。

第56回（令和6年度） 通常総会の報告

第56回通常総会は、昨年の臨時総会での確定事項に基づき、慰霊大祭に引き続き護国神社会議室において開催され、約25名の会員が出席し、審議の結果新6年度の活動が全会一致で承認された。

一、令和5年度（23・1・24・5）

決算

・ 収入	2,084,198円
・ 支出	1,297,581円
・ 繰越	786,617円
二、令和6年度（24・6・25・5）	
・ 収入	1,561,627円
・ 支出	1,205,000円

・ 繰越 356,627円
三、特別会計（寄付金・玉串料等）（令和6年11月末まで） 292,716円

四、令和6年度事業計画
・ 令和6年度慰霊大祭
令和6年7月28日
令和7年7月27日（7年度計画）
56回通常総会
令和6年7月28日
令和7年7月27日（7年度計画）
慰霊大祭に続いて開催
令和7年7月27日（7年度計画）
ニューギニア方面慰霊巡拝
会報「椰子の樹」発行（2回）
ホームページ管理・リニューアル
今後の事業に、「嗚呼戦友の碑」「コイキン観音」などのあり様について考慮していく。

第72回 長野県戦没者 追悼式が開催された

10月26日、第72回長野県戦没者追悼式が佐久市、県立武道館で感染症流行の心配もある中、来賓・各地の遺族代表、主催者職員等約600名が参加し盛大に執り行われた。

式典の進行等は、今回も地元・佐久大学6名の学生の協力を得て、4年生（都築さん）の司会により進められた。

長野県知事の式辞では、今年のノーベル平和賞、「日本被団協への授与の対象となった広島・長崎原水禁活動の取り組み」について言及、ついで来賓代表の追悼の詞で長野県遺族会長は、「国家予算で実現した、孫・ひ孫の世代に向けての語り部活動」を今後の遺族会活動で積極的に取り組むこと、また佐久大学4年生（浦野くん、関谷さん）による、平和へのメッセージでは、「世界平和に向けて自分たちの世代が率先して英霊の思いを引き継いでいく」と決意を発表された。

最後に知事や来賓、遺族代表らが祭壇に向かい心からの

献花、一般参列者は併せて拝礼して式典は終了した。

長野県ニューギニア会に寄付をお寄せいただきました。有難うございました

寄付者名簿（順不同・敬称略）

細萱 仙秀	山岸 幸子
山岸 慶介	塩之入 利子
山岸 清美	田中 智之
小池 博之	野村 和貴子
鈴木 尚武	矢島 敏勇
鈴島 尚	林 栄一
五月日 輝雄	五明 良平
畠山 啓吾	大久保 典昭
小林 悦子	田中 裕海
天谷 裕道	小池 信子
宮島 いく子	藤池 功久
中村 清子	市川 典夫
樋口 恒治	興 幸男
伊藤 けさみ	赤羽 広治
本田 昌彦	荻窪 とよ子
大日方 泰子	西沢 悦子
渡辺 和子	有坂 英幸
渡辺 すみ子	小林 香代子
林 英一郎	牧原 久二
成沢 勝人	小坂 昭男
伊藤 寿枝子	山崎 英雄
飯田 将人	香掛 千代子
遠藤 やす子	峰村 房夫
北川 富男	丸山 芳邦
安川 観春	小山 正博
峯村 契子	滝澤 祐一
川上 白雪	三澤 卓夫
山岸 篤志	松田 克江
藤原 明夫	荒井 綏
清水 ナツ子	竹村 淳
佐々木 正利	松下 正充
高木 幸代	土屋 耕太郎

椰子の実

矢澤 英峰 岩田 良作
宮原 千代治 米澤 生久
田中 真弓 伊東 宜寿
大久保 寛憲 浅見 良太
平沢 一 宮沢 袈裟信
長田 健治

★昨年のTVは米国の野球と大統領選挙、パリの五輪など賑やかな話題、さらに国内での政権の変化。歌ったり踊ったり裏側では新手の犯罪。画面の出番と切替えが忙しかった★健康保険制度が改正され「マイカード化」、今までの保険証が変わる。週刊誌の記事では当初システムを海外企業に外注したとか。問題が発生するたびに費用を追加。日本国民の個人データを第三国が記録している？★今年の漢字に「金」。物価の高騰、政界の汚いお金等困りもの。筆者は一月で95歳になります。中学生時代の勤労動員に年金は付かないのかなあ？★いやな事件の多い中で光ったのは全国高校駅伝。女子の長野東高、男子の佐久長聖が揃って優勝の快挙とはご立派でした★小池会長が体調を崩された由、難問処理でお疲れとか、ご回復を祈っています★本号の編集がページ毎に紙面構成の不統一を反省「椰子の実」が転がります。インフルエンザの流行。予防接種とマスク常用でどうぞお大事に（竹村）